

平成23年度 天王寺区地域福祉アクションプラン推進委員会

第4回 障がい班会議

～第3期天王寺区地域福祉アクションプラン策定に向けて話し合いました～

日時：平成23年12月7日（水）午後1時30分～3時20分

場所：区在宅サービスセンターゆうあい2階 多目的ルーム

障がい班では、地域での障がい者との交流と障がいの理解・普及、障がい者施設と地域のつながりづくりを目的に、パラリンピック公式種目である「ボッチャ」というスポーツを地域で進めています。今年になり、区社会福祉協議会のホームページを見て、他市の団体等から「ボッチャの道具を貸してほしい」との依頼がありました。それを受け、今回の会議では、アクションプラン推進委員会のボッチャ用具を他の団体等へ貸出していいかどうか話し合いました。その結果、「ボッチャを通して、障がいの理解普及が広がることはいいことだから、貸出をしてもいい」との意見で一致しました。また、ボッチャ用具を貸出す際の際の要綱についても班員で意見交換し、それをもとに正式に作成します。

また、来年度から第3期区地域福祉アクションプラン（平成24年度～26年度）を推進するため、第2期（平成21年度～23年度）の目標と取り組みを振り返りながら、第3期はどのような目標を設定し取り組みを進めていくか議論しました。その結果、今期の取り組みがまだ途中であり、評価も出来ていないため、継続項目として活動を進め、随時障がい当事者の方々のご意見を聞きながら活動を評価し、そこから出てきた課題を解決していくとの意見で一致しました。

<第3期への継続目標>

- ・障がい当事者の声から必要な取り組みを決め実施すること
- ・障がいのある方や多世代の交流の輪を広げ、地域へ障がいの理解を促進すること
- ・災害時に備えて障がい者への安否確認システムや支援施策を考えること

その他、前回の会議の続きである「相談窓口が分かりやすいシンプルな広報づくり」については、まずA4サイズを1万枚、A3サイズを1000枚作成することを確認し、「地域で障がいについて理解を深めるための勉強会の実施」については、まず地域の実態把握と相談窓口の役割を果たしている保健・医療・福祉ネットワーク推進員に知的障がいについて知っていただくための勉強会を開催することで確認されました。

